



# 萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

校長 岩 倉 隆

三笠市萱野 192 番地-1 TEL 2-2308

発行：平成 30 年 1 月 30 日 <10 号>

## 新しい年を迎えて

### ～運をつかむ”あいさつ””返事”～

文責：教頭 江連 誠二

新年、明けましておめでとうございます。

それぞれの想いで平成30年を迎えられたことと思います。3年生のご家庭ではいつもと違う気持ちで『初詣』に行かれた家庭もあるようですが、新年を健やかに迎えられたことを、まずは皆様と共に喜びたいと思います。

さて、今年度は学校経営のキーワードとして『自主・自立』を掲げ、多くの取組を進めてきました。一定の成果がある反面、生徒アンケートや保護者アンケートを受け、改善しなければならないこともあると考えています。また、萱野地区の様々な町内会行事に参加させていただき、地域の方々と交流した中で、子どもたちへの想いや学校に対する想いを直接、伺うこともできました。大変ありがとうございました。

さて、3学期始業式の中で校長が生徒に向けて『運をつかむ“あいさつ”や”返事”』についてお話をしました。それを聴きながら、私自身の事を考えてみました。

確かに、社会に出た時（あるいは社会に出る前からかもしれません）に、「運」は大事だと感じます。「運」を言い換えれば私の場合は「人との出会い」です。振り返ると、人との出会いによって自分の人生が変わる（影響される）ことがたくさんありました。

あの方に会っていないければ、私は教員にはなっていませんし、あの方に会っていないければ、教頭にもなっていません。そんな「あの人との出会いが無ければ…」という経験が多かれ少なかれ、皆様にもあるのではないのでしょうか。

社会に出れば、「仕事との向き合い方」だけではなく「職場の人との向き合い方」「地域の人との向き合い方」も問われます。その「人との向き合い方」の第一歩、入り口が「あいさつ」や「返事」だと思うのです。あいさつの仕方や返事の仕方によって、その人の「人との向き合い方」が分かります。

生徒のまわりには保護者の皆様や地域の皆様、私たち教職員など多くの大人がいます。私たち大人は生徒より早く社会に出て生きており、社会に出た時に生きていく上で「大切なこと」を知っています。それらの「大切なこと」を伝える役割をこれまでは主に学校や家庭が担っていましたが、これからは学校・家庭・地域がつながり、伝えていくことが必要になっています。そうした意味からも4月よりスタートする「岡山萱野小中一貫コミュニティ・スクール」は重要だと考えております。保護者・地域の皆様におかれましては、昨年同様に生徒達の成長のために、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 「学び方」 を 考える機会に!

2日(木)には、1・2年生の学力テストがあります。このテストは、定期テストとは違い、北海道文化協会作成のテストです。各学年で学習した内容が、きちんと身につけているかどうかを確認するために実施します。

出題の範囲も、定期テストより広く、進級に向け、1年間の成果と課題が、より明確に見えるものとなります。春休みの学習の参考にしてください。

また、21日(水)・22日(木)には学年末テストがあります。1年間の最後のテストです。こうしたテストの成績が評定につながる訳ですが、「授業の受け方」「家庭学習の仕方」など「学び方」について、改めて、深く考える機会にしたいと思います。



## 受験生に応援を!

「高校入試」の時期になりました。萱野中学校3年生6名は今、受験に向けて毎日頑張っています。冬休み中も自主的に学校に来て、自主学習や先生に質問するなどして、懸命に学習している生徒もいました。そんな3年生のがんばりを見ていると、自然と応援したくなります。

全員が笑顔で「15の春」を迎えられるように、学校はもちろんのことですが、すべての保護者の皆様、地域の皆様からの応援をお願い申し上げます。

# 2月 February

日	曜	学校行事	日課	給食	相談
1	木	小中一貫合同部会 PTA文化部会(18:30)	会議	○	
2	金	1・2年学力テスト③ スクールカウンセラー来校		○	午前
3	土				
4	日				
5	月	入学説明会 三笠高校食育教室		×	
6	火	新年度計画会議①	会議	○	
7	水	新年度計画会議② チャレンジテスト配信	会議	○	
8	木			○	
9	金	卒業式係活動 漢検③		○	
10	土				
11	日	建国記念の日			
12	月	振替休業			
13	火			○	
14	水	公立高校推薦入試:面接 校内研修	会議	○	
15	木	出願変更状況の発表 小中一貫合同研修会 コミスクプレ会議		○	
16	金			○	
17	土				
18	日	英検2次			
19	月	テスト前部活動停止 健康相談週間(~23日)		○	
20	火	私立入試B日程①		○	
21	水	私立入試B日程② 学年末テスト(1・2年)① 職員会議	会議	○	
22	木	学年末テスト(1・2年)②		○	
23	金	委員会 スクールカウンセラー来校 同窓会入会式	会議	○	午前
24	土				
25	日				
26	月	授業参観、懇談会(1・2年)		○	
27	火			○	
28	水			○	



<雪かき・汗かき>  
運動不足解消!  
ストレス発散!

# 3学期がスタート！

## ～ 有終の美を～



始業式に臨む萱中生



3学期に期待することを3つ



始業式であいさつする生徒会長

3学期が始まりました。「有終の美を飾る」という言葉があります。辞書によれば「最後までやり遂げ、立派な成果をあげること」だそうです。3学期は授業日数が大変少なく、3年生は卒業式まで38日間、1・2年生は47日間であつという間に終わります。この間に学力テストや入試、学年末テストがありますし、卒業式に向けての取組があります。今、ここにいる仲間と過ごせるのもわずかです。一日一日を、一時間一時間を、一つ一つの取組を大切にしたいものです。そしてぜひ有終の美を飾ってほしいと思います。

また、4月から新しいステージでの生活が始まります。そのための準備をする時間にもしてほしいものです。

## スキー教室 in 桂沢スキー場



まずは準備体操！体が…



最後にハイポーズ！

1月26日（金）桂沢国設スキー場で「スキー教室」が行われました。冬季のスポーツに親しみ、体力の維持・向上を図ること、グレンデスキーのマナーを身につける事などを目的として実施しました。

午前中はグループ毎に練習し、午後から技能テストと自由滑走。心配されていた天気も穏やかで、休憩も取らずに楽しそうに滑っていたとか。学校に帰ってきた時には少し疲れた表情を見せる生徒もいましたが、その奥には「楽しかった」という気持ちが見え隠れしていました。



# コミスクでタテ・ヨコ・ナナメの関係を！

## 子どもたちがコミュニケーション能力を失う理由

中学校で起きる生徒間のトラブルの多くは「コミュニケーション力」の未熟さが原因とされており、本校でもこのことは課題と捉えています。ではなぜ、「コミュニケーション力」が未熟なのでしょう？子どもたちからコミュニケーションを奪う、もしくはコミュニケーションをしようとする意欲を奪うもの。それは「テレビ」と「携帯」です。以下は今年度の萱野中の生徒にとった生活アンケートの結果です。

① 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームをする時間は除きます。)

⇒ **2時間以上と答えた生徒の割合が50%(9名)。そのうち、4時間以上と答えた生徒は22%(4名)**

② 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます。)

⇒ **2時間以上と答えた生徒の割合が45%(8名)。そのうち、4時間以上と答えた生徒は17%(3名)**

驚きの結果です。月曜日から金曜日まで1日平均2時間。5日間で10時間以上もテレビやゲーム、携帯・スマホを見ている。特に、①の質問では4時間以上と答えた生徒が22%もいる。土・日も入れたら恐ろしい事になりそうです。(単純に1日平均4時間として1年間で1460時間です。)

一方、萱野中学校での授業は体育や家庭科、音楽も道徳なども含めて5日間で30時間。1年間では約1100時間です。学校の授業時数の負けです…。

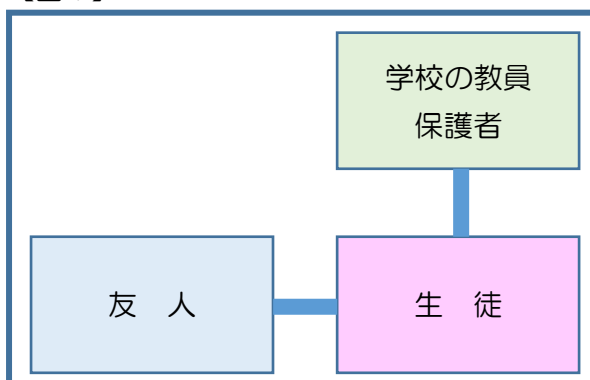
## 「斜めの関係」が、子どもたちのコミュニケーションを豊かに育てる

下の図1は学校と家庭という狭い社会でしか生身の人の関わりが持てない状況を表したものです。まさしく、タテとヨコの関係しかありません。親と子の関係では、あしなさい、こうしなさい等と命令口調になってしまったり、怒ってしまいます。教員と生徒も同様で、タテの関係だと、どうしてもコミュニケーションを切るようなコミュニケーションになってしまいます。

図2をご覧ください。家に例えるなら、タテの関係というのは「柱」です。それから横の関係は「梁」です。ただ、それだけだと地震が来ると倒れてしまう。だから「筋交い」、つまりナナメの関係が必要です。ちょっとやさそとの人間関係の揺れでもびくともしない子を育てるためには、このナナメの関係を築く必要があると思います。昔の地域社会だったら、地域の子供が悪いことをしていたら近所のおじさん、おばさんが注意したり、良い事をしたらほめてくれたり、親が忙しい時、ご近所さんがどこか遊びに連れて行ってくれたり…。言わば、タテの関係でもヨコの関係でもない、地域のみなさんとのナナメの関係が、実は子どもたちのコミュニケーションを活性化し、コミュニケーション能力を豊かに育てていくのです。

ところが先日、町内会の会議に参加させていただいた時、萱野中に通う生徒19名全員の顔と名前が一致するという方はゼロでした。ぜひコミュニティ・スクールを通して、地域の皆様と子どもたちの間にナナメの関係が築かれるよう、チカラをお貸しいただきたいと思います。

【図1】



【図2】

